

ほけんだより



尚徳福祉会 とちょう保育園
看護師

熱中症が心配な季節となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや、急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。のどがかわいてなくてもこまめに、早いタイミングで水分を摂るようにしましょう。水分補給に適しているのは、お茶や水です。たくさん汗をかいた時はイオン飲料も良いでしょう。モーニングカフェをご利用の方も、水分と一口せんべいなどをもって登園するようにしてください。

夏に多い 感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。ご家族間の感染にもお気をつけください。

プール熱

(医師による登園許可書が必要です)

プールで感染することもあり、高熱が3〜5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。



流行性角結膜炎

(医師による登園許可書が必要です)

目が腫れ、充血し、目やにや涙が多く出ます。感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

のどの痛みが強い時は、のどごしのよい食べ物と水泡にしみない水分摂取を!

くたくたに煮たうどん、冷たいスープ、ゼリーなど(柑橘類は×)

ヘルパンギーナ (保護者による登園届)

突然の高熱と喉の痛み、口の中(のどちんこの周辺)の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1〜4日くらいで解熱します。



手足口病 (保護者による登園届)

手の平、足の裏(手の平と足の裏の発疹は手足口病だけ)口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。まれに脳炎などの発症もあり注意が必要です。



かゆみのある湿しんは「とびひ」かも



虫刺されや湿しんなどで傷ついた肌を汚れたつめでひっかくと、傷口に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になります。うみをもったような水ぼうがで、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひっかくと大変! 水ぼうが破れて中の液が付いた所に、とびひがどんどん広がってしまうのです。水ぼうを見つけたら、つめでひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

ぼくたちのつめも、忘れずに短く切ってね



6/18 国立感染症研究所の発表によると、今年流行の兆しあり、現在は西日本中心ですが、夏に向けて本格的流行が予測されています。手洗いで大人も予防を!

今月の
保健行事

身体測定 7月16日(火)

0歳児健診 7月26日(金) 14:30~